

# 「話し合い」の準備から評価まで

第1章 話し合いの効果 P.1

第2章 話し合いの準備 5W2H P.3

Step 1  
話し合いを始める前に

- Why (目的) P.3
- What (内容) P.3



Step 2  
話し合いを始めるための  
具体的な準備

- Who (参加者など) P.4
- When P.5  
(全体の見通し・時間帯など)
- Where P.5  
(会場・黒板やAV機器の有効な活用の仕方)
- How much P.8  
(必要経費など)



Step 3  
話し合いの当日の進め方

- How P.9  
(会場設営の工夫)
- P.10  
(討論の方法・まとめ)
- P.11  
(資料作成のポイント)
- P.12  
(係と役割分担)

### 第3章 いよいよ「話し合い」当日

P. 14

Step 1  
主催者は当日の準備も  
手抜きなく

余裕をもって会場入りし、  
手際よく準備しましょう

P. 14



Step 2  
話し合いを始める前に  
話し合いが始まったら

会場にいる全員が主役になって、いい  
話し合いにしましょう

- ・話し合いに臨む態度 P. 15
- ・進行役が心がけたいこと P. 16
- ・参加者が心がけたいこと P. 17

コラム「電話の扱いについて」



Step 3  
まとめ  
そして 次のステップへ

合意形成し、そこで達した結論は参加  
者全員で理解し、確認しましょう

P. 19

### 第4章 「話し合い」を終えて

P. 20

当日  
P. 20

実行に向けて  
P. 21

主催者はまだ  
終わらない  
P. 21

# 「話し合い」を活性化するために

## 第5章 話し合いを活発にするための工夫

P. 22

**ブレインストーミング**  
P. 24

**バズセッション**  
P. 25

### 参加者がより主体的になるための工夫

- ・ワークショップとは P. 22
- ・ワークショップにすぐ使える手法 P. 24

**ファシリテーション  
グラフィック** P. 28

**KJ法**  
P. 26

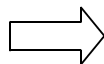
### 参加者の気持ちをほぐす工夫

- ・音楽やコーヒーなどのサービス P. 30
- ・アイスブレイク P. 30

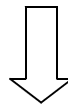
### 活発な話し合いにするための土台作りの工夫

「体験学習」やグループワークトレーニングのすすめ P. 31  
グループワーク プロジェクトアドベンチャー  
プロジェクトワイルドなど

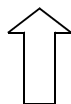
計画の甘さによる原因



主催者の臨機応変な対応  
主催者の誠意ある対応



活発で有意義な  
話し合い



進行役の上手な対応・主催者の適切な配慮と対応

## 第6章 こんな時にどうしたらいいの P.33

話がテーマからそ  
れる  
P. 33



話し合いが  
活発にならない  
P. 35

発言をしない参加  
者  
P. 37

特定の参加者だけ  
が発言する

P. 39

こんな参加者は困  
る  
P. 41